

滋賀県立スポーツ会館
長寿命化計画
(個別施設計画)

令和2年3月
滋賀県文化スポーツ部スポーツ課

施設の概要

基準日：令和元年8月時点

基本情報					
施設名称 (愛称)	滋賀県立スポーツ会館				
HPアドレス	http://www.bsn.or.jp/spokan/				
電話番号	077-522-0301				
所在地	大津市御陵町4-1				
設置目的	「県民の心身の健全な発達と体育・スポーツの普及振興を図るため」(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定)				
所管	部局	文化スポーツ部			
	課等	スポーツ課			
設置年月	昭和59年5月				
土地	敷地面積	3,061.02㎡	避難所指定等	—	
	市街化区域	市街化区域	防災拠点指定等	—	
	用途地域	商業地域	文化財指定	—	
建物	延床面積	3,061.02㎡	再生エネルギー等	—	
	取得価額	275,491,800円	自家発電設備	無	
運営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	有
	運営時間	9:30~21:00		多目的トイレ	有
	休館日	月曜日、年末年始		オストメイト対応トイレ	無
駐車台数	—			車いす使用者用駐車場	—



特記事項
 ・指定管理者：滋賀県スポーツ協会・日本管財株式会社グループ
 ・新県立体育館竣工後は、県立施設としては廃止し、その後の利活用について地元大津市と協議。

施設概要						
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
スポーツ会館	鉄骨鉄筋コンクリート造	S59.5.9	3,061.02㎡	3	新耐震	

成果情報					
	H28	H29	H30	3カ年平均	備考
利用可能日数(単位:日)	315	317	316	316.0	
年間利用人数(単位:人)	40,291	42,662	41,980	41,644.3	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	128	135	133	131.8	
年間収入(単位:円)	25,180,618	24,375,390	22,998,341	24,184,783.0	
1日あたり収入(単位:円/日)	79,938	76,894	72,780	76,537.3	

コスト情報					
	H28	H29	H30	3カ年平均	備考
収入(単位:円)	67,490,618	66,685,390	65,308,341	66,494,783.0	
施設利用収入	24,132,298	24,162,887	22,794,791	23,696,658.7	
県指定管理料	42,310,000	42,310,000	42,310,000	42,310,000.0	
その他	1,048,320	212,503	203,550	488,124.3	
支出(単位:円)	64,480,520	65,942,768	65,697,038	65,373,442.0	
人件費	34,182,326	40,268,746	38,700,778	37,717,283.3	
光熱水費	4,180,434	3,708,484	3,801,927	3,896,948.3	
委託費	7,034,196	7,507,188	7,482,666	7,341,350.0	
修繕費	2,856,357	1,371,077	3,783,963	2,670,465.7	
その他	16,227,207	13,087,273	11,927,704	13,747,394.7	
収支(単位:円)	3,010,098	742,622	-388,697	1,121,341.0	
修繕費(県負担)(単位:円)	0	6,231,600	0	2,077,200.0	
資産老朽化比率(※)	99.0%	100%	100%		

※減価償却累計額(建物)÷(有形固定資産合計(建物)+減価償却累計額(建物))

1. 策定の趣旨

本計画は、インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月29日)および滋賀県公共施設等マネジメント基本方針(平成28年3月、以下「基本方針」という。)に基づき、戦略的な維持管理・更新等を推進するため、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として策定するものである。

2. 対象施設

スポーツ会館

滋賀県公共施設等マネジメント基本方針における「3施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」の「1. 庁舎等」にかかる建築物およびその付帯施設

3. 計画期間

定期点検サイクル等を考慮の上、可能な限り計画期間の長期化を図ることで、維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図るため、令和元年度から施設廃止までの間とする。

4. 個別施設の状態等

(1)施設の劣化・損傷の状況や要因等

本施設は建築後35年(令和元年8月時点)を経過し、経年相応の劣化が見られる。防水機能に関しては屋根廻りのシーリング材劣化が進行しており、漏水の原因と考えられる。また、外構部建物廻りの地盤沈下等による床タイルの割れ・隆起が見られ、つまずき等の危険箇所も見られる。

(2)点検・診断の実施方針

「滋賀県県有施設点検マニュアル」に基づき毎年点検を行うほか、建築基準法第12条第2項および第4項による定期点検、その他建築設備の法定点検等の結果に基づき施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

また、建築物の老朽化の進行や安全性に影響を及ぼす恐れのある設備についても、併せて劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

(3)その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

5. 対策の優先順位の考え方

(1)目標使用年数

適時適切な改修等により、法定耐用年数を超えて使用することを目標とする。

(2)当該施設が果たしている役割等を踏まえた優先順位の考え方

当施設は、県民の心身の健全な発達と体育・スポーツの普及振興を図るため、健康・体力診断に基づく運動プログラムの提供等を行うスポーツ施設である。

対策の優先順位については、スポーツ施設として利用者に対し、安全で衛生的な環境の提供に係る各種対策の実施を優先することとする。

対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

6. 対策内容と実施時期

(1) 基本的な方針

「現状や課題に関する基本認識」を踏まえ、①施設総量の適正化、②施設の長寿命化、③施設の計画的な更新の3つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

(2) 取組方針

① 点検・診断等

- ・劣化状況や不具合状況の的確な把握が重要であることから、法定点検に加えて、全庁的に活用可能な「県有施設点検マニュアル」を策定のうえ点検を徹底し、劣化や不具合の進行可能性や施設に与える影響などについて評価(診断)を行う。
- ・また、点検・診断等の結果を適切に集積し、施設の維持管理・修繕・更新等への反映させることで、公共施設における「メンテナンスサイクル」を確立する。

② 安全確保

- ・公共施設の管理においては、県民・利用者の安全確保を最重要事項として認識のうえ、点検・診断を実施し、危険性の有無を適切に把握するとともに、危険性が認められた場合は、速やかに安全確保のための措置を行う。
- ・老朽化等により供用廃止され、かつ今後も利用見込みのない公共施設は、危険性が生じることがないように適切に処分・除却等を進める。

③ 耐震化

- ・新耐震の建物であることから耐震化済み。

④ 施設総量の適正化

- ・統廃合等で不要となった施設は、他用途への転用や市町、民間への売却など適切な処分を行う他、計画的に除却等を進める。

⑤ 長寿命化

—

⑥ 維持管理・修繕・更新等

- ・施設の安全性や施設の運営に支障をきたすことのないよう、施設の廃止までの間、適切に維持管理・修繕等を実施する。

7. 対策費用**(1)長寿命化対策**

(単位:百万円)

施設名	年次計画										計	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な対策												

(2)大規模改修

(単位:百万円)

施設名	年次計画										計	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な対策												

(3)その他の改修 等

(単位:百万円)

施設名	年次計画										計	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な対策 状況を確認しながら順次修繕を行う。												

※対策費用については随時見直しを行う。

※この計画により予算が確定されるものではない。

8. 更新履歴

更新年月	更新した内容